

長野県 公立高校の入試制度

【2022年度版】

選抜概要

- 長野県の公立高校入試（全日制）は、前期選抜と後期選抜の2回あります。2022年は、前期選抜実施 62校、後期選抜実施 78校（全校）です。

	出願期間	志願変更	入試日	合格発表日
前期選抜	2/1(火)~3(木)	—	2/8(火)	2/16(水)
後期選抜	2/22(火)~25(金)	2/28(月)~3/3(木)	3/9(水)	3/18(金)

- 出願は、原則1校1課程1学科に限ります。
ただし、くくり募集（原則として同一学校の同一課程内の複数の小学科を1学科として取り扱って行う募集）を実施する学校の場合は、くくられた群への志願とします。
- 入学予定者数が募集定員に満たなかった場合は、再募集を実施します。

前期選抜

- 前期選抜は各学校の特色に応じて行う選抜になります。
各学校が定めた「生徒募集の観点」に応じて、学校長の推薦が無くても出願可能な自己推薦型選抜となっています。「生徒募集の観点」とは、各学校が前期募集において、どのような生徒を求めているのかを具体的に示したものです。
どの教科が得意であってほしいか、学校生活においてどんなことに取り組んでもらいたいかなどが記載されています。

募集人員は以下の通りです。

- ・普通科，農業科，工業科，商業科，家庭科及び総合学科…50%以内
- ・理数科，自然科学探究科，学究科，スポーツ科学科，音楽科，国際教養科，人文科学探究科，国際観光科，自然探究科及び国際探究科…90%以内

●選抜資料

①面接

②調査書

- ③学校採択による選抜資料…志願理由書（又は自己PR文），作文（又は小論文），実技
以上のうちから学校長が定めたもの

- 上記の資料を用い「生徒募集の観点」に配慮のうえ、総合的に判断し合格者を決定します。

後期選抜①

●募集人員は募集定員から前期選抜の募集人員を除いた数とします。

ただし、前期選抜の入学確約書の提出者が前期選抜の募集人員に満たなかった場合は、募集定員から前期選抜の入学確約書提出者数を除いた数とします。

また、出願について、同一校の同一課程内に2学科（部）以上ある場合は、第2志望を認めることがあります。

この場合に、第1志望学科と第2志望学科が同一の大学科に属し、当該大学科に他の小学科があるときは、第3志望まで認めることもあります。

●選抜資料

①学力検査…国語・数学・社会・理科・英語（各50分・各100点）

※専門学科において、2教科につき2倍の範囲内で傾斜配点を行うことも可能

②調査書…各教科の学習の記録，総合的な学習の時間の記録，特別活動の記録，行動の記録並びに総合所見等

評定は、中学3年の9科（5段階評価）が対象

③学校採択による選抜資料…面接，志願理由書（又は自己PR文），作文（又は小論文），実技等を参考資料とすることが可能

●上記の資料を用い、総合的に判断し合格者を決定します。

後期選抜②

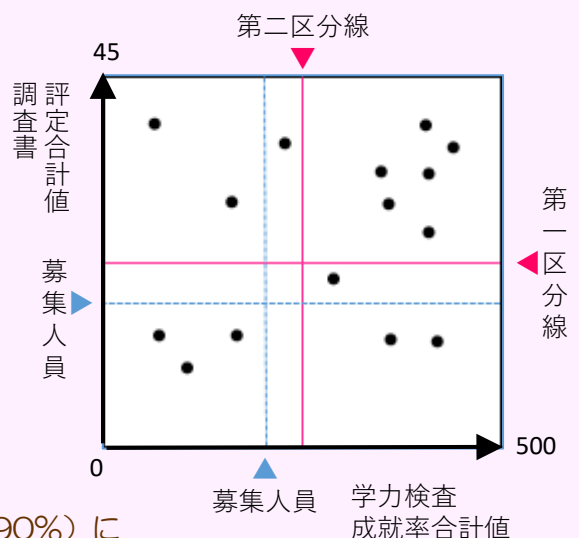
教科の成績については、調査書の評定と学力検査結果の相関図を以下の方法で作成し、調査書の記載事項と併せて選抜資料とします。

・調査書に記載されている中学3年次の必修教科の評定合計値（最高45点）を縦軸，学力検査成就率合計値（最高500点）を横軸とする相関図を作成

・募集人員を考慮して基準人員を設定

・縦軸について基準人員の数に相当するポイントが区分線の上側の区域に含まれるよう第一区分線を設け、横軸について基準人員の数に相当するポイントが区分線の右側の区域に含まれるよう第二区分線を設けることにより4領域に区分

上の図は、学校裁量の基準人員を9人（募集人員の90%）に設定し、受検者15人、募集人員10人の場合を表します。



相関図は、受検者全員について各領域の特性などを十分考慮したうえで選抜の資料とされます。